学校訪問

部活動

諏訪台中学校

西日暮里2－36－8

生徒が部活動を紹介します

美術部

▲黒板アートプロジェクト

▲みんなで仲良く活動しています

私たち諏訪台中学校美術部は、1年生6名、2年生7名、3年生10名の計23名で活動しています。顧問は、大黒洋平先生と石川薫先生です。基本の活動日は、火、木、金の週3回で、行事前は毎日活動します。

活動内容は、学校行事の看板や装飾、コンクールに応募するポスター作成、レタリング検定の受験、秋の文化祭で発表するオリジナルショートムービーの作成、冬の文化祭で展示する油絵や美術館レポートまとめ、卒業式・入学式での黒板アートプロジェクトなど盛りだくさんです。

美術は、自由な発想が大切なので、普段からいろいろなことに興味をもって取り組んでいます。また、月1回のペースで、都内の美術館へ遠足に行っています。

◀発想力を高めるため美術館へ

ショートムービーは、コマ撮りなので、とても時間がかかります。大変ですが、完成した時の達成感と喜びは大きいです。

運動会や文化祭の看板づくりでは、部員が協力してレタリングやデザインをします。今後も、学校行事に彩りをそえていきたいと思います。

執筆 部長 3年 窪田花鈴

学校自慢

第六日暮里小学校

西日暮里6－35－16

学校の自慢を児童が紹介します

▲みんな大好き六日小まつり

▲北部町会の法被を着て発表した六日ソーラン

私たちが通う、第六日暮里小学校のいいところは、PTAの人たちや地域の人たちと、とても仲がいいところです。

PTAのみなさんは、私たちのためにさまざまな行事を考えてくれています。

中でも、私たちがおすすめする行事は、何といっても六日小まつりです。六日小まつりは、PTAの人たちやにこにこスクールの先生、学校の先生たちもみんなで学校の中に屋台を出してくれます。普段見慣れた学校が、この日はとてもにぎやかで、特別な場所に変身します。

12月に行われるもちつき会では、おやじの会、PTAの人たち、そして私たち6年生が中心となり、おもちをつきます。みんなでついたおもちは格別に美味しいです。

運動会では、地域の人と荒川音頭を踊っています。また、今年は、町会から法被を借り、5・6年生で心を一つに運動会を成功させました。

◀「よいしょ！よいしょ！」の声に合わせておもちつき

六日小の子どもたちは、PTAの人たちや地域の人たちと深い関わりがあります。私たちは、たくさんの人たちに支えられているこの六日小が大好きです。こんなすてきな第六日暮里小学校が100年も200年も続いていってほしいと思います。

執筆 6年 今野琉華 吉村榎江

赤土小5年生が高齢者を手助け 勇気ある行動に感謝状を贈呈

困っている高齢者の手助けをした赤土小学校5年生の児童5人が区役所を訪れ、西川区長から感謝状が手渡されました。児童5人は4年生のときに、区が実施している「認知症サポーター養成講座」を受講しており、今回の手助けの際に役に立ったそう。

西川区長から一人ひとり感謝状を受け取った児童たちは、「講座で勉強したことが活かせて良かったです！」と笑顔で話していました。

▲「えらかったね。ありがとう」と、西川区長は感謝の気持ちを伝えました

尾久八幡中学校卓球部 全国大会での活躍を祈念してエール

8月21日、「全国中学校卓球大会」に出場する尾久八幡中卓球部の壮行会が行われました。「日ごろの練習の成果を発揮し、素晴らしい大会にしてください」と西川区長。選手たちに温かいエールと拍手が贈られました。

▶主将は「昨年の成績を越えられるようにがんばります」と宣言

あらかわ今昔ものがたり
あらかわの歴史と伝説

その111 あらかわとお月見 ～お月見は山へ川へ～

秋になると、空が高く青々として爽やかな風がわたるよね。夜になれば、スズムシやコオロギの鳴き声が聞こえ、空には星や月がくっきり見えるようになる。そろそろお月見のシーズンだね。

人は昔から太陽や月の恵みで豊かな実りが得られ、健やかな暮らしができると信じ、空を見上げては感謝の気持ちを込めて手を合わせてきたんだ。月を見るには、旧暦（昔のカレンダー）の7～9月、仲秋・晩秋が最もよいと言われているんだよ。

お月さんに感謝！

月を見る特別な日、それがお月見だ。お月見といえば、旧暦7月の「二十六夜待」、旧暦8月の「十五夜」、旧暦9月の「十三夜」等があるよね。

特に仲秋の名月「十五夜」と「十三夜」には、机の上に、お団子・ススキ・柿・栗・枝豆・里芋などの秋の味覚をお供えし、お家で月を眺めたんだ。

でもね、昔の人は、月が最も美しく見える場所に出かけて行ってお月見をしたんだってさ。いったいどこに出かけて行ったのかな？

月を見に山に登る

江戸時代のガイドブック「江戸名所図会」や、年中行事の本「東都歳事記」に人気のスポットがたくさん紹介されている。あらかわも何か所かエントリーされているよ。

まずは、日暮里のお山の上。月見寺と呼ばれた本行寺（西日暮里三丁目）、諏方神社境内の諏訪台（西日暮里三丁目）、道灌山（西日暮里四丁目）。諏訪台は、諏方神社のお祭りの前日に当る二十六夜待で人気だった。道灌山は、虫の音を楽しむ虫聞きでも有名だよ。遠くまで見渡せたから、月がとても良く見えただろうね。浮世絵にも描かれているよ。

月を見に川に乗る

次に、隅田川。船に乗ってお月見をするんだ。どの辺りが人気だったのかというと、真崎（南千住三丁目、石浜神社付近）、汐入（南千住八丁目）や対岸の綾瀬の辺りだよ。

何と、船から見るのは空の月では無く、川面に映った月なんだ。大きく川がカーブしている汐入は川幅が広い。特に十五夜の日は大潮で潮が遡るから、川面が膨らんでカーブミラーのようになり、月影を大きく映し出すんだって。なんだかとてもロマンチック！

今年の十五夜は10月4日。月を眺めながら昔の人のお月見をイメージしてみてね。

▶東都名所 道灌山虫聞之図（満光寺蔵）

問合せ 荒川ふるさと文化館 ☎（3807）9234

R70 古紙配合率70%再生紙を使用しています。